

医療について (P21)

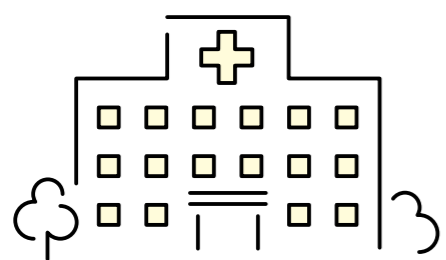
「安心感が“ちょうどいい”」

総合病院や地域医療が充実!
安心できる街

総合病院やクリニックが多く、医療環境が整っているのも下野市ならではの魅力。医療費は高校生（18歳）まで自己負担ナシ！子育て世代も安心して暮らせる医療環境が整っています。

18歳年度末まで 医療費 無料!
人口一人当たりの医師数 全国 1位

(※全国909市区サステナブル都市調査／平成23年日本経済新聞社)



子育て環境 (P18 ~)

「親子に“ちょうどいい”」

パパママにやさしい!
子育て・教育環境が整っています

児童表彰や、育児ママ・パパリフレッシュ利用券の発行など、子育てにやさしい制度が充実。義務教育学校が新たに新設されるなど、教育面でも安心できるまちです。



「地域子育て支援センターつくし」では絵本、紙芝居の読み聞かせ、子育て相談、主任児童委員による育児相談などを定期的に行っています。

【面積】 74.59km²

【人口】 60,244人

(令和3年11月現在)

さくっと早わかり

「ちょうどいい」から暮らしやすい
下野市の魅力

動画はコチラから!



生活のしやすい環境 (P14 ~)

コンパクトさが“ちょうどいい”

国道4号線と新4号バイパス、
高速も通るアクセス便利エリア

国道4号線と新4号国道は、県内や隣県へのお出かけに重要なルート。北関東自動車道の壬生（みぶ）ICも近いので、逃出もスムーズです。



暮らすのにちょうどいい
コンパクトシティ

宇都宮市と小山市の間にあり、南北約15.2kmの市としては県内最小面積のコンパクトな街。鉄道と国道に沿って市街地が連なり暮らしやすさ抜群！便利と安心がぎゅっと詰まっている街です。



生活に必要な施設が
主要道路沿線にあり便利

市街地には学校や病院などの公共施設があり、歩いて行ける範囲にスーパーやコンビニなど生活に便利なお店がそろっています。忙しい人でもストレスなく暮らすことができます。



市内にJRの駅が3つ!

県のほぼ中央を縦断するように伸びるJR宇都宮線のうち、小金井、自治医大、石橋と3つの駅が下野市内にあります。東京都内まで快速で約80分と好アクセス。



※2022年3月現在

文化のまち (P26)

「環境が“ちょうどいい”」

歴史ロマンが残る「東の飛鳥」
文化遺産と自然が調和した街

奈良時代には、奈良東大寺、筑前の観世音寺と並ぶ日本三戒壇、下野薬師寺が建立されたまさに「東の飛鳥」。国指定史跡の下野薬師寺跡や下野国分寺跡、下野国分尼寺跡など、古代からの史跡が数多く点在しています。



専用アプリ「VR 東の飛鳥」でCGで復元した様子を楽しめます。

首都圏通勤について (P20)

「通勤に“ちょうどいい”」

首都圏通勤も
ストレスフリー

都心まで快速で約80分。小金井駅からは始発電車も出ているため、座りながらラクラク通勤も可能。通勤ストレスが少なく、移動時間も有効活用できます。

